

授業科目	*相談援助演習Ⅱ				単位	1		
履 修	必修	関連資格	社会福祉士 保育士		ナンバリング	WE21224J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP5-1 DP5-2			
担当教員	文屋 典子、荒木 剛、岡田 和敏、通山 久仁子							
授業概要	本演習では、ロールプレイやグループワークを用いて、相談援助専門職に求められる価値・知識・技術、実践の原則について学ぶ。また、利用者の生活状況や福祉的課題を包括的に理解する視点と支援方法について相談援助事例をもとに考えていく。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相談援助の各展開過程において求められる相談援助に係る知識と技術を理解し、実践できる。</li> <li>2. 相談援助の専門職として求められる価値・実践の原則について理解し、説明できる。</li> <li>3. 利用者の生活状況や福祉的課題を包括的に理解する視点と支援方法について理解し、説明できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	20	30	50	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)				10	20		30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				5	5	10	20	
思考・判断 (DP2-2)					5	5	10	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)						10	10	
技能・表現 (DP5-2)				5		25	30	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
相談援助の視点、相談援助の専門職として求められる価値・実践の原則にもとづいて事例検討に取り組むことができる。相談援助の各展開過程における課題と留意点をふまえ、相談援助に係る知識と技術を実践することができる。				相談援助の視点、相談援助の専門職として求められる価値・実践の原則について説明することができる。相談援助の各展開過程において求められる知識と技術を理解し、説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	オリエンテーション 授業の概要について説明する。授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。			講義	なし		0	

2	相談援助の視点 相談援助専門職の基本姿勢および援助場面における原則について学び、実践する。社会福祉士の倫理綱領について学ぶ。	解説、グループディスカッション	該当部分の復習・予習	30
3	相談援助における面接技術(1) 基本的コミュニケーションや言語的コミュニケーションおよび非言語的コミュニケーションについて実践や事例学習を通して学ぶ。	解説、事例学習、ロールプレイ	該当部分の復習・予習	30
4	相談援助における面接技術(2) 面接における基本的応答技法(内容の反射、感情の反射に関するものなど)について実践や事例学習を通して学ぶ。	解説、事例学習、ロールプレイ	該当部分の復習・予習	30
5	相談援助における面接技術(3) 面接における基本的応答技法(適切な質問、情緒的な支持、アイメッセージなど)について実践や事例学習を通して学ぶ。	解説、事例学習、ロールプレイ	該当部分の復習・予習	30
6	相談援助における面接技術(4) 面接における基本的応答技法の活用について実践や事例学習を通して学ぶ。	解説、事例学習、ロールプレイ	該当部分の復習・予習	30
7	インテーク 事例を用いて、インテークにおける面接技法と相談援助における相談援助関係について学び、実践し、考察を深める。	解説、事例学習、グループワーク、ロールプレイ	該当部分の復習・予習	30
8	アセスメント 事例を用いて、アセスメントにおける情報収集、情報の整理と評価、援助関係形成の原則、ニーズの明確化について学び、実践し、考察を深める。	解説、事例学習、グループワーク、ロールプレイ	該当部分の復習・予習	30
9	プランニング 事例を用いて、アセスメントにもとづく支援目標の設定、支援内容の検討について学び、実践し、考察を深める。	解説、事例学習、グループワーク、ロールプレイ	該当部分の復習・予習	30
10	支援の実施とモニタリング 事例を用いて、支援の実施およびモニタリングについて理解を深め、多角的な介入の視点を考察する。	解説、事例学習、グループワーク、ロールプレイ	該当部分の復習・予習	30
11	評価と終結 事例を用いて、効果測定の方法について学ぶ。また、終結までの過程とアフターケアについて学び、実践する。	解説、事例学習、グループワーク、ロールプレイ	該当部分の復習・予習	30
12	相談援助における記録(1) 相談援助における記録の定義・目的・種類・文体について学び、実践する。	解説、事例学習、グループワーク、ロールプレイ	該当部分の復習・予習	30
13	相談援助における記録(2) 相談援助における記録の留意点および記録の課題について学び、実践する。	解説、事例学習、グループワーク、ロールプレイ	該当部分の復習・予習	30
14	まとめ 相談援助演習Ⅱにおける学びについてのプレゼンテーションおよび重点項目を解説する	解説、プレゼンテーション	14回の講義での学びを振り返り、まとめを行う	30
15				
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまでの講義や演習を通して学んだ基本的なコミュニケーション技法について復習する。			
テキスト	授業内において、課題に応じた資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内において指示する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	本演習で学んだ内容を復習し、ボランティア活動や相談援助実習などで実践できるよう準備していきましょう。授業での学びをきっかけとして、現在の個人や社会をとりまく福祉的課題についても関心を向け、各自の学びを深めていきましょう。			
達成度評価に関するコメント	発表、レポート外の提出物(演習課題・ワークシート等)、その他(授業やグループワークにおける発言、積極性、役割遂行等)により評価します。詳細は、授業内で説明します。			

